

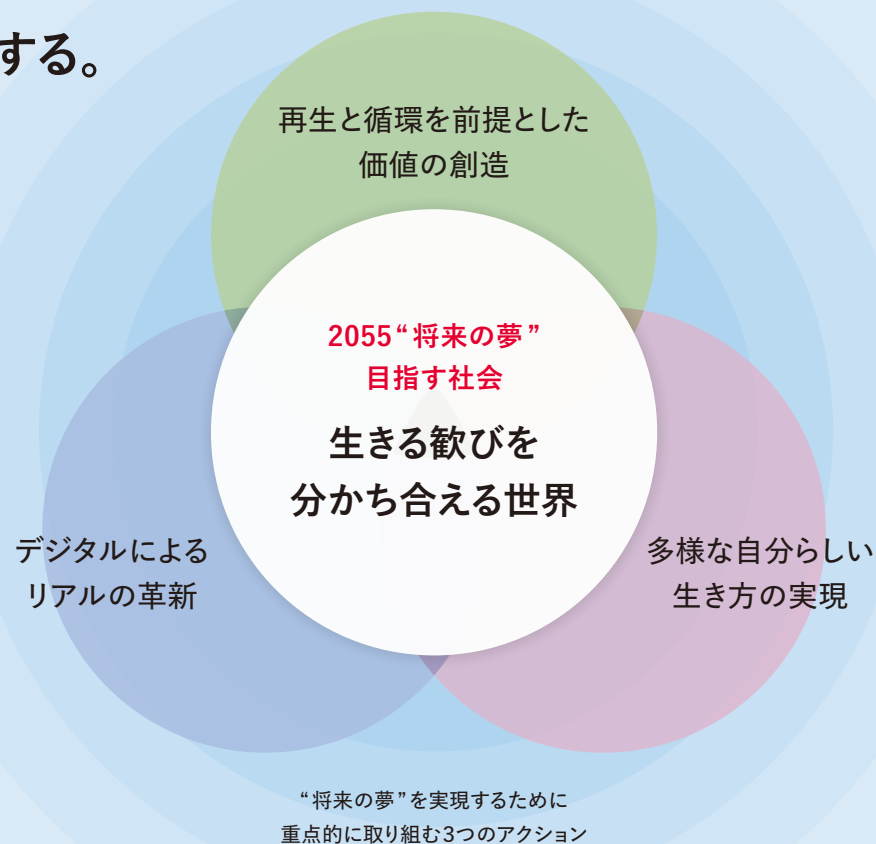
創業100周年に向けた私たちの“将来の夢”

生きる歓びを分かち合える世界の実現に向けて、 再生と循環の社会インフラと生活文化を創造する。

私たち大和ハウスグループは創業以来、
「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる」
「“将来の夢”が人や企業を成長させる」という
創業者の想いととも歩んできました。

今、私たちが描く“将来の夢”は、
人々の「生きる」が地球と豊かに調和し、
一人ひとりが自分らしく、
おたがいが認め合い、活かしあい、輝きあう世界の実現です。

私たちは、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、
あらゆる人々と心をつなぎ、
自然と共生する街づくりと、幸福で活力にあふれた生き方の創造を通じて、
未来の景色を拓いていきます。



再生と循環を前提とした 価値の創造

限りある地球の資源を活用し、地球と社会全体に「サイクル」を生み出すこと。
建物が持つ能力、人が持つ活力を最大限に引き出しながら、世の中をより豊かにすること。
当社グループは、さまざまな業種をつなぐ人・街・暮らしの価値共創グループとして、
再生と循環を基盤に商品・サービスだけでなく、事業そのものを進化させ、
人間と地球が共存するための新たな価値を創造していきます。



デジタルによる リアルの革新

データの持つ可能性を最大限に活用し、一人ひとりの「生きる」をより充実したものに変わっていきます。

例えば、ITによる現場の安全性・生産性の向上や、データの蓄積による顧客へのサービス品質の向上、物理的制約を超えた新しい生活空間を創造していきます。



多様な自分らしい 生き方の実現

新しい生き方・働き方、そしてそれを可能にする商品・サービスを生み出し、
一人ひとりが自分らしく「生きる」世界を、自らが変革の起点となり、
あらゆる人々と心をつなぎながら、共創していきます。



統合報告書 2023のハイライト

▶ 大和ハウスグループにとって“**将来の夢**”という言葉が持つ意味とは

▶ イントロダクション 大和ハウスグループの“将来の夢”

P.1

▶ “将来の夢”実現に向けた**マテリアリティ**への取り組み状況は

▶ **Chapter 1** CEOメッセージ

P.7

▶ マテリアリティに向けた**第7次中期経営計画**の進捗は

▶ **Chapter 2** 長期ビジョンと第7次中期経営計画

P.15

▶ マテリアリティの**KGI/KPI・特定プロセス**について

▶ 夢を実現するための**強み・ビジネスモデル**とは

▶ **Chapter 3** 価値創造ストーリー

P.24

▶ 第7次中期経営計画における**財務戦略・資本政策**の考え方とは

▶ **Chapter 4** CFOメッセージ

P.32

▶ 第7次中期経営計画においてどのように**キャッシュ・フローを創出**するのか

▶ **Chapter 5** 事業の推進

P.40

▶ 第7次中期経営計画における**カーボンニュートラル戦略**とは

▶ **Chapter 6** 環境戦略

P.61

▶ 第7次中期経営計画においてどのように**サステナビリティを向上**させるのか

▶ **Chapter 7** 基盤の強化

P.72

▶ **社外取締役・監査役**からみたガバナンスの評価は

▶ **Chapter 8** ガバナンス

P.86

▶ これまでの**実績**は

▶ **Chapter 9** 業績・企業情報

P.105

目次

Chapter 1 CEOメッセージ

CEOメッセージ	8
----------	---

Chapter 2 長期ビジョンと第7次中期経営計画

1 創業100周年に向けたロードマップ	16
2 環境認識(機会とリスク)と マテリアリティ	17
3 マテリアリティと第7次中期経営計画	18
4 マテリアリティの特定プロセス	19
5 中期経営計画の振り返りと、 第7次中期経営計画の進捗	20

Chapter 3 価値創造ストーリー

1 大和ハウスグループの今	25
2 大和ハウスグループ100周年 10兆円に向けた“夢”の歴史	26
3 価値創造の源泉から生み出される強み	28
4 創業者精神を受け継ぐビジネスモデル	29
5 価値創造プロセス	30

Chapter 4 CFOメッセージ

CFOメッセージ	33
資本政策の基本方針	38
キャピタルアロケーションと株主還元	39

Chapter 5 事業の推進

事業別業績目標	41
事業別概況	42
戸建住宅事業	43
賃貸住宅事業	46
マンション事業	48
商業施設事業	50
事業施設事業	52
環境エネルギー事業	54
社会インパクトの創出	56
不動産投資の状況	58
拡大する分譲事業	60

Chapter 6 環境戦略

環境戦略の全体像と主なKPI	63
永瀬取締役常務執行役員メッセージ	64
カーボンニュートラル実現のための 主なアクション	67
TCFD提言への対応	68
エンドレス グリーン プログラム 2026	70

Chapter 7 基盤の強化

1 人財基盤の強化	73
座談会:吉野山の桜の保全と、 大和ハウスの“将来の夢”	77
2 技術・ものづくり基盤の強化	81
3 顧客基盤の強化	83
4 人権マネジメント	85

Chapter 8 ガバナンス

経営体制	87
社外取締役および監査役 代表メッセージ	90

Chapter 9 業績・企業情報

財政状態および経営成績等の分析	106
財務ハイライト	115
非財務ハイライト	117
会社概要・役員一覧・株式情報	118
編集後記・コミュニケーションの全体像	119

【編集方針】本書は、株主・投資家をはじめステークホルダーの皆さまに向けて発行しています。大和ハウスグループの価値創造ストーリーにおいて、事業戦略や財務戦略といった財務情報と私たちが考える本源的企業価値に関する非財務情報を統合し、そのプロセスに欠かせない3つの経営資源(人財、顧客、技術・ものづくり)や強みである複合的な事業提案力等をご紹介します。【参考にしたガイドライン】本書の制作においては、Value Reporting Foundation「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」を参考にしています。本年は昨年示し切れていなかった事業環境とマテリアリティと第7次中期経営計画の関連性を整理し、マテリアリティのKGI/KPIの社内議論を進め策定したことで、“将来の夢”の実現に向けた道筋を明示しています。【報告の範囲】本書は、大和ハウス工業を中心に大和ハウスグループ全体(2023年3月31日現在、連結子会社432社、持分法適用関連会社54社、持分法非適用関連会社1社)について報告しています。【将来予測記述に関する特記】本書には当社グループの見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、現在入手可能な情報から得られた判断に基づいています。実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。